

8/19 (水) の記者レクチャー

報道発表資料の配付日時 8月19日 (水) 13時30分

発表項目 (行事名)	ジャガイモシロシストセンチュウの確認について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時) 8月19日(水) 15時30分	発表者	技術支援担当局長 名取 一也 道総研中央農業試験場 清水 基滋 病虫部長
		発表場所	道庁2階 道政記者クラブ
概要	○ 農林水産省から本日15時に、これまで国内において存在が確認されていなかった、馬鈴しょの重要病害虫である「ジャガイモシロシストセンチュウ」が、網走市内の一部ほ場で確認された旨、公表するとの連絡がありましたので、その概要について説明します。		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い	本線虫が確認された地域では、植物防疫法に基づく調査や防疫対策が行われます。 本線虫は、土壌を介してまん延することから、まん延を防止するため、現地での取材は厳に慎むようご協力をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	オホーツク総合振興局記者会 同時レク

担当 (連絡先)	農政部生産振興局技術普及課 (担当者: 菱川農業環境担当課長) TEL 011-231-4111 ダイヤルイン 011-204-5409 内線 27-802		
-------------	---	--	--

ジャガイモシロシストセンチュウの確認について

平成27年8月19日
北海道農政部

農林水産省は、これまで国内において存在が確認されていなかった馬鈴しょの重要病害虫である「ジャガイモシロシストセンチュウ」について道内で確認した旨公表したので、道として、これまでの経緯、公表内容、今後の道の対応等についてお知らせします。

1 公表まで経緯

- (1) 網走市内の農家より、農業改良普及センターに馬鈴しょの生育不良について照会があり、現地確認の結果、ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性品種に寄生している「シスト」を発見したため、7月30日北見農業試験場とともに調査、サンプルを採取し、7月31日に農研機構北海道農業研究センターに同定依頼。
- (2) 8月6日、農研機構北海道農業研究センターからジャガイモシロシストセンチュウであるとの同定結果を受け、直ちに農林水産省に報告。
- (3) 同日、農林水産省は担当官を道庁に派遣し、翌7日現地において、道農政部及び地元関係者と調査の実施等について調整。
8月11日、植物防疫官による現地調査・サンプル採取を行い、植物防疫所で同定作業を実施した結果、本日(8/19)、ジャガイモシロシストセンチュウと同定。

2 今後の対応

本線虫は土壌を介してまん延することから、農林水産省は、まん延を防止するため植物防疫法に基づく調査や防疫対策を講じる。

3 道の対応

8月10日に札幌及び地域段階に道及び関係機関からなる「重要病害虫防疫対策連絡会議」及び農政部内に対策チームを設置。

今後、農林水産省の指示に基づき、生産者及び生産者団体の協力のもと、発生範囲等の調査及びまん延防止対策に取り組む。

4 取材に関するお願い

植物防疫法に基づく調査や防疫対策を円滑に進めるため、農協、地域の生産者等の取材や現場への立ち入りは、厳に慎むようお願いいたします。

なお、取材については、農林水産省消費・安全局植物防疫課、北海道農政部生産振興局技術普及課、オホーツク総合振興局産業振興部農務課が対応いたします。

－お問い合わせ先－

生産振興局技術普及課普及推進グループ 主査(農産・植物防疫) (ダイヤル 011-204-5379)
オホーツク総合振興局産業振興部農務課農産係 (ダイヤル 0152-41-0664)